

科目名 (科目番号)	看護学概論 (074111)	教員名 吉田礼子	学科等	看護学科	必修	履修年次	1
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
			オフィスアワー			A210研究室	
授業概要	看護の起源や、ナイチンゲール以降の看護の概念の発展を踏まえ、看護とは何か、看護の対象としての人間とは何か、健康とは何か、健康と看護、人間をとりまく環境と健康、看護の機能と役割などを学び、考える。また、現代社会における看護提供システム、保健医療福祉チームの中での看護の位置づけ・役割について学び看護の幅広さを理解する。さらに、看護専門職としての責任ある行動、専門性、倫理、法的側面について学び、将来看護職として成長していくための基盤となる知識・考え方と意欲を獲得することを目的とする。 関係する垂直軸:看護、人間の理解、健康の状態、多職種連携、自己研鑽						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	看護の概念	到達目標:看護の概念、看護の本質を理解する。 学習内容:看護の語源やケアリング、看護の定義、看護師の仕事について学習する。				
	2	看護の変遷	到達目標:社会背景を踏まえ、看護の歴史的な変遷について理解する。 学習内容:アメリカ、イギリス、日本を中心に古代・近代・現代の看護の変遷を学習する。				
	3	看護とは何か①	到達目標:ナイチンゲールの看護のとらえ方を理解する。 学習内容:「看護覚書き」の重要な箇所を読み解きその概要を学習する。				
	4	看護とは何か②	到達目標:ヘンダーソンの看護のとらえ方を理解する。 学習内容:「看護の基本となるもの」の重要な箇所を読み解きその概要を学習する。				
	5	看護とは何か③ 看護の本質としての倫理	到達目標:看護の本質に倫理があることを理解する。 学習内容:代表的な看護理論について知り「看護とは何か」を考えるとともに、「良い看護」には倫理が含まれることと倫理原則を学習する。				
	6	看護の機能と役割	到達目標:看護の定義と結び付けて看護の機能と役割について理解する。 学習内容:看護の独自の機能と具体的役割として、コミュニケーター、代弁者、教育者、看護過程展開、看護ケアのマネジメント、研究的取り組みなどについて学習する。				
	7	看護の対象としての人間①	到達目標:人間とは何か、理論を学び、自分や周囲の人間から考える。 学習内容:看護の対象としての人間について、統合体としての人間、成長発達する人間、欲求をもつ人間について学習する。				
	8	看護の対象としての人間②	到達目標:家族の中の人間の在り方について理解する。 学習内容:看護の対象としての人間を取り巻く家族について学習する。				
	9	健康の概念	到達目標:健康の概念を明らかにし、健康段階と連続性を理解する。 学習内容:健康とは何か、健康の概念、基本的権利としての健康について学習する。				
	10	健康と看護①	到達目標:グループ学習を通して、健康を広く捉え看護との関連を考える。 学習内容:グループメンバーと協力して日常生活と健康、集団の健康、国民の健康状態、健康を守る法律・制度の中からテーマを選んで調べてまとめる。それを全体の中で発表・討議する。				
	11	健康と看護②					
	12	健康と看護③					
	13	看護の活動の場と法的責任	到達目標:看護職者の活動の場と法的責任について理解する。 学習内容:看護職者の就業状況と活動の場、法により定められている役割・義務と責任について学習する。				
	14	看護専門職としての責任	到達目標:看護専門職としての責任ある行動、専門性について理解する。 学習内容:看護教育制度と専門職に必要なプロフェッショナリズムについて学習する。				
15	看護・看護学の未来	到達目標:看護・看護学の動向を知りその未来と自己のあり方について考える。 学習内容:看護に関する社会的な動きについて学習し、未来を見すえて自己のめざす方向を考える。					
成績評価の方法・基準	評価表に基づいたグループ学習の取り組み(含む課題レポート)30%+期末試験70%						
教科書	1.ナーシンググラフィカ 基礎看護学① 看護学概論 2.看護覚え書 3.看護の基本となるもの		志自岐康子 他編 F.Nightingale著 湯槇ます 他訳 V.Henderson著 湯槇ます 他訳			メディカ出版 現代社 日本看護協会出版社	
参考図書	その他、必要時紹介する。						
教員からのメッセージ	看護学概論は、看護学の導入科目です。講義や討議、課題学習を通し今後の学習の土台となる「看護観」「人間観」「健康観」「職業観」など培っていきましょう。概論というと「取っつきにくい」イメージがあるかも知れませんが、「分かりやすく心に残る授業」を目指します。						